

幼稚園の砂場

2024. 5. 30

「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」もう何年も前に出合った言葉である。私の名言メモ帳に、しっかりと書き込まれている。だが、この言葉を使う機会がずっとなかった。ようやく、そのときが来た。

ところが、この言葉のことをよく知らなかった自分に気づかされた。恥ずかしながら、この言葉が本のタイトルであることを知らなかった。アメリカの作家、牧師であるロバート・フルガムが著した本の名前だった。早速、アマゾンで注文した。同じタイトルの似たようなものがいくつかあった。よくわからないが、決定版となっている文庫本にした。

1990年5月に単行本が刊行され、1996年3月に文庫化された。のち、著者自身の意向により25章を補筆し、改訂した単行本『新・人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』が2004年3月に刊行され、2016年3月に改題のうえ文庫化された。私の手元に届いた決定版の文庫本は、そういうことだった。

本の帯には、世界累計1700万部超、100か国以上で読み継がれる珠玉のエッセイ集！とある。なぜ、本のタイトルが、名言として世に広まったのか。もともと、著者が、幼稚園で学んだことを述べたくだりが口伝えに広まり、ひとり歩きを始めた。家庭の冷蔵庫や公共の掲示板に貼りだされるようになった。あるとき、学校が著者の文章を印刷して生徒に配った。子どもがナップザックに入れて持ち帰ったプリントを読んだ母親の中に出版エージェントの仕事をしている方がおり、著者に手紙を送った。他にも何か書いたものはないかというお尋ねである。ないことはないと著者は答える。これをきっかけに、不思議の国にでもいるように、とんとん拍子に話が進んで出来上がったのが『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』である。

エッセイ集というのがいい。本のタイトルになっている一文は、第1章「わたしの生活信条（クレド）」第1節のタイトルである。著者は、職業を問われると、哲学者と答えることを常としていた。自分は、身のまわりの何気ないことについて深く考えるのが好きなのだと説明している。

レベルはだいぶ違うが、自分もフルガムのようにになりたい。今までは考えたこともなかったが、自分の文章の一節が、名言としてひとり歩きするようにならないか。まあ、そんなことは起きないだろう。それにしても、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」は、言い得て妙である。これからは、この言葉を紹介する機会が、どんどん増えていくことだろう。楽しみである。